

令和3年度 学校経営計画

1 目指す学校

生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し希望進路を実現する

－「学力向上・専門性の伸長」「キャリア教育の充実」「探究活動推進」－

校訓として「進取創造」「自主自律」を掲げ、人間尊重の精神を基盤として、心豊かに、たくましく生きる生徒を育てるために、創造・立志・貢献を柱とした教育を推進する。

【希望進路実現に向けて】

- (1) 生徒自らの個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや成就感を実感させ、学習に対する意欲を形成する。(学習指導)
- (2) 生徒一人ひとりに個性・能力を発見させるとともに、働くことや学び続けることへの意義を理解させ、生徒がチャレンジ精神をもって「自分探しの旅」「自分づくりの旅」に取組み、より高い希望進路を目指す指導内容を整備し実践する。(進路指導)
- (3) 授業・学校行事・部活動、奉仕活動等、全ての教育活動を通して、豊かな人間性を育てつつ、自主自律の精神を育むとともに、自らの可能性を追求する教育活動を実践する。(生活指導)
- (4) 学校行事や部活動にて、生徒に集団の中における役割を自覚させ、他と協力して目標を達成することのできる態度を育成する。(特別活動・部活動)
- (5) 地域と共に実践する教育活動を通して、生徒が社会の中での役割を自覚し、社会に貢献しようとする意欲を育成する。(地域との連携)
- (6) 教育に対する強い使命感と責任感をもとに、教職員が一体となって組織的・計画的な教育活動を展開し、地域連携の更なる充実を図る。(学校経営)
- (7) 防災対策の充実を図るなど生徒の安全を確保し、体罰やいじめの無い生徒が安心して生活できる学校づくりを推進する。(学校経営)
- (8) 情報発信や危機管理の充実等、経営企画型事務室としての機能を充実させ、行政感覚を生かした機動的な組織運営を行う。(学校経営)

2 中期的目標と方策

創立15年目を迎え、校訓である進取創造、自主自律を実践し続けることで積み上げてきた総合学科高校としてのこれまでの成果を基盤とし、地域の教育力と深く結びついた独自の特色ある学校づくりを一層推進し、都民の信頼と期待に応え、生徒・保護者・地域から更に愛され親しまれる学校づくりを実現する。

- (1) 都立高校学力スタンダードへの取組みや生徒による授業評価等に基づく校内・教科内研修等により指導方法等を工夫して、基礎的・基本的な学力の定着と応用力の育成を図り、総合的な学力や上級学校進学に対応できる学力を育む。(学習指導)
- (2) 創立以来の成果を踏まえ、社会の変化に応じた4系列への再編や教育課程の改編を行い、次期学習指導要領を視野に入れた総合学科として特色ある教育課程を編成・実

- 施するとともに、習熟度に応じた講習・補習や希望進路の実現に向けて一貫性ある学習環境を整備する。 (学習指導)
- (3) 各種講習を活用して主体的な学びや対話的な学びを深め、学校全体が意欲的に学習に取り組む機運を高める。 (学習指導)
- (4) 3年間を見通したキャリア教育と探究活動への指導を一層推進し、自らの生き方を主体的に意思決定できる能力や態度を育む。 (進路指導)
- (5) 国公立・難関私大受験希望者に対応できる指導を実践する。 (進路指導)
- (6) 学校教育の充実の基盤は生活指導であることを基本として、愛校心や自他を大切に
する態度を育成し、自主自律の精神を養い、全校体制で基本的な生活習慣の徹底・定着
を図る。 (生活指導)
- (7) 生徒主体の学校行事、生徒会、部活動等を実現し、生徒が自らの役割を自覚して、成
就感・満足感を体感できる教育を推進する。 (特別活動・部活動)
- (8) 学校説明会、学校見学会、授業公開、中学校訪問等、多様な広報活動へ積極的に取組
み、本校の特色ある教育活動の周知と応募倍率の向上を図る。 (募集・広報活動)
- (9) 主幹教諭・主任教諭等が中核となり授業改善等においてOJTの充実を図り、一体
となって組織的・計画的に教育活動に取り組む。 (学校経営)
- (10) オリンピック・パラリンピック教育を学校全体で推進することにより、ボランテ
ィアマインド、を育成するとともに障害者理解を深める。 (学校経営)
- (11) 海外等高校生訪問を積極的に受入れるなど、異文化交流の機会の充実を図り、日
本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚を育成する。 (学校経営)
- (12) 個人情報管理の徹底、防災対策への取組み強化、いじめや体罰防止の徹底、保健
指導を充実させ感染症予防拡大の徹底を図る。安全や安心を基調とした学校づくりへ
の意識を学校全体で高めていく。 (学校経営)
- (13) 組織運営や危機管理、予算の編成・執行・管理、開かれた学校づくりの窓口として
の役割を果たす経営企画型の経営企画室機能を推進する。 (学校経営)

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

【学習指導】

- ① 習熟度別授業や少人数授業の実施方法等の工夫を行う。若手教員研修や授業発表を
相互参観して授業改善を推進し、生徒一人ひとりの個性・能力に応じた授業を展開
する。
- ② 教科会を活性化させるとともに教科間の連携を図り、より一層ねらいを明確にし
て授業計画を作成し、学力向上スパイラルの深化を図る。また、必修・選択科目の効
果検証・検討や葛総で育む総合的な学力の成果分析・検証等を実施する。
- ③ 土曜・長期休業日中の講習、基礎的・基本的な学力の定着と応用力の育成を図る。
また、習熟度に応じた講習や希望進路実現に向けた系統的な学習指導を全校体制で

行っていく。

- ④ 選択科目履修の意義を十分に理解させるとともに、予習・復習の徹底や週末課題の提示、自習教室等の設置等により、学習を習慣化させる指導の充実を推進し、授業外の学習時間の確保と増加を図る。
- ⑤ 学校設定教科・科目の開発・充実に積極的に取り組み、系列の特色を打ち出すとともに、時代を見据えた教育課程を編成し、生徒一人ひとりの知的好奇心を引き出す教育を推進する。
- ⑥ 授業等を通して、積極的に読書に親しむ指導を進めるとともに、図書館を有効活用するなどして不読率の減少を推進し、新たな発見や感動に出会うことができる機会の充実を図っていく。
- ⑦ ICT 機器を効果的に活用し生徒の興味・関心を高めるとともに、各科目における理解を一層高めさせる。

【進路指導】

- ① 進路実現統一様式を活用するなどして、進路実績の分析を進めるとともに、国公立大・難関私大等も含めた進路先の選択決定に、生徒がチャレンジ精神をもって取り組めるよう、組織的に全教職員でガイダンスや個人・保護者面談等の充実に取り組む。
- ② キャリアカウンセラー及び総合学科推進部を中心として、生徒の希望進路実現に向けた科目選択を全職員で支援するとともに、興味関心が高い科目に対して一層意欲的に取り組むことができるよう指導の充実を図りつつ、生徒に明確な学習目標と進路目標をもたせる。
- ③ 課題研究発表会や学習成果発表会の充実などを通して、キャリア・コア（「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」）の内容を一層充実させる。また、総合的な学力を必要とする調査研究活動や課題研究への取組を充実させ、本校の特色としてのキャリア教育の充実を希望進路実現に結びつける。
- ④ 葛飾区との「相互連携協定」をもとに、中高生交流事業の推進等を生かし、キャリア教育を充実させるとともに、東京都総合学科高等学校教育活動成果発表会(12月)への積極的参画を推進して、生徒の学習活動へのモチベーションの維持・向上と社会に役立つ喜びを実感させる。
- ⑤ 自学支援や情報発信、メディアセンターとしての図書館機能の充実を図る。

【生活指導】

- ① 生活指導統一基準に基づく指導の徹底を図るとともに、「規律正しい高校生活」を本校の特色として一層推進する。
- ② 「時を守る」「場を清める」「礼を正す」を生活指導のモットーとし、全教員の共通理解の下で、遅刻指導、身だしなみ指導、挨拶運動等を行い、自主自律の精神及び社会貢献の心を育む。基本的な生活習慣の定着については、徹底した指導を行う。
- ③ 自主自律の中核としてノーチャイム制の一層の定着を図るとともに、学校全体で組織的に授業規律を確立する。

- ④ 生徒支援連絡会（兼：学校いじめの対策委員会）を中心に、情報共有するとともに校内研修会を充実させる等、学校全体として組織的に、特別支援教育を推進し、自殺防止対策を充実させるとともに、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応を徹底する。

【特別活動・部活動】

- ① 生徒が活躍する場面をさらに拡大し、生徒会や部活動、学校行事等の運営に関わる教育活動を通して、生徒の自主性や社会性を育成するとともに、愛校心やコミュニケーション能力、協調性を育む。
- ② 部活動の一層の活性化に向けて、その成果を積極的に HP や学校便り、全校集会等において紹介する。

【募集・広報活動】

- ① 本校設立の理念を実現する視点をもとに、学校見学会や学校説明会、中学校訪問等の実施方法の工夫を行う。
- ② HP の更新をタイムリーに行い、本校の特色を広く中学生・保護者に周知して志願者数増加に結びつける。

【健康づくり】

- ① スクールカウンセラーを活用した教育相談体制の整備や生徒支援連絡会等の充実を図るとともに、個人情報管理の徹底を図りつつ、生徒指導に関わる必要情報の共有化を推進し、よりきめ細やかな生徒指導体制を実現していく。
- ② 保健委員会活動の充実を図るとともに、スクールカウンセラー等の専門家による健康講話の実施等、学校保健活動の充実を図り、健康教育を推進する。
- ③ 日々の清掃活動の状況を把握・提示する等校内美化を一層徹底するとともに、美化だより等の継続的発行や生徒委員会活動の充実により、組織的な校内美化活動を推進する。また、経営企画室と連携した植栽整備を進めるとともに、生徒エントランスの整備等も視野に入れて潤いある校内環境づくりに積極的に取り組む。
- ④ 体育理論の指導を更に充実させ、体育の授業における自己やチームの体力向上 PDCA サイクルを確立する。東京都統一体力テストを円滑に実施し、テスト結果を活用して体力の向上を図る。

【学校経営】

- ① 教職員が一体となった円滑な教育活動の実現と課題解決に向けて、個人情報徹底管理等による事故の未然防止に努め、情報の共有化を一層推進し、企画調整会議を中核にした組織的で PDCA に基づいた学校運営を図る。
- ② 職層に応じた職務遂行や OJT 推進のため、分掌等内 OJT や授業相互参観、OJT のための校内研修会、葛総若手教員授業塾等の充実を図り人材育成を推進する。
- ③ 道徳心や社会性を育成する視点も踏まえて地域連携や地域貢献を重視した活動を継続して実施し、葛飾区との「相互連携協定」に基づく中高生交流事業を推進す

る。さらに、東京理科大学・産業能率大学との連携に取り組む。

- ④ 地域貢献型宿泊防災訓練等の円滑な実施等、震災等にかかわる校内防災体制の整備や防災マニュアル等の周知徹底を図るとともに、生徒に対して訓練の意義を周知し、生徒が安全で安心できる学校づくりを推進する。
- ⑤ 四半期毎の予算の執行・管理や予算編成指針に応じた予算編成等を通じた学校経営計画の推進、窓口対応や校内美化の充実等を通しての開かれた学校づくりやPRの充実等、行政感覚を一層学校経営に生かした取組みを推進する。
- ⑥ ライフ・ワーク・バランス推進に向けて、教職員の在校時間 10 時間以内を目指す。

(2) 重点目標と方策、数値目標

- ① 本校建学の理念や特色ある教育活動等の更なる発展のため校内研修を実施する。

◇数値目標 校内研修：9回（各回参加者15名以上）

- ② 授業改善に努めるとともに、基礎基本の学力の定着と応用力の育成に向けて、土曜講習・長期休業日中の講習・勉強合宿を実施する。

◇数値目標 「生徒による授業評価」における授業満足度：90%

授業力向上に関わる校内研修：9回

長期休業日中の講習：50講座

土曜講習：13日（各日のべ参加者200名以上）

- ③ 希望進路の実現に向けて、第1～12期生の進路実現を踏まえ、進路実現率に係る指標等の精査を進め、生徒がより高い目標にチャレンジするよう指導する。

◇数値目標 進路実現率：90%

進路部アンケートにおける生徒の進路指導満足度：80%

国公立大・難関私大合格者 3名以上

- ④ 遅刻・身だしなみ・挨拶の指導を徹底して、自律の精神と社会性を育てる。

◇数値目標 1クラス平均遅刻数：0.9名以下

- ⑤ 生徒の自主性や社会性を育てるとともに、愛校心を育み活気あふれる学校とすることを目指して、特別活動・部活動を充実させる。葛希祭については、本校の特色ある行事として、また、地域の風物詩としての確固たる土台を築く。

◇数値目標 部活動への加入率：90%

文化祭への来場者数：3000名

- ⑥ 全教職員で広報活動に取り組み、本校への入学志望者数の増加を図る。

◇数値目標 東京都中学校長会進路対策委員会調査：170名

推薦に基づく選抜志願者数：150名

学力検査に基づく選抜（第一次募集）志願者数：170名

学校見学者数：2000名・中学校における説明会への参加：20回

地域でのイベントへの参加：20回